

---

# BLACK WANDERLAND

Rio

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

BLACK WANDERLAND

### 【Nコード】

N6423S

### 【作者名】

Rio

### 【あらすじ】

晴と優真ハル ユウマは、物心がついたところからの幼なじみ。

ある日の学校帰り、一緒に帰っていた二人は、不慮の事故に巻き込まれる。

死を覚悟した二人だが、突然眩い光と共に視界から景色が消えた。

暫くして再び目を開けると、そこには見たことがない世界が広がっていた…。

# BLACK WANDERLAND

黒ウサギはこう言った。

ようこそ、ブラック・ワンダーランドへ！

君達には今から、

ゲームに参加してもらおうよ！

目覚まし時計が鳴る。

その音がとても耳障りで、布団から手を伸ばすと思わず壊しかねない勢いで、目覚まし時計を放り投げた。

それでも、頑なに鳴り続ける目覚まし時計。

ふと、我に返って慌てて目覚まし時計のもとへ駆け寄り、時刻を確認した。

午前8時半…

「……………」

目覚まし時計を両手に、彼は固まる。

そして考える。

待て。

今日は日曜日だ。

きっとそうだ。

だから、関係ない…

遅刻なんて、そんな……

……。

「今日は水曜日じゃねエかつつ！！！！？」

これは彼にとって、毎朝必ず繰り返される光景である。

瞬時に制服に着替え、風のような速さで階段をかけ下り、そしてダイニングのドアを開けると、朝の用事でバタバタしている母と目が合った。

「あら、晴。おはよう。今日は早いのね？」

「いや、早くねーしっ！」

そう言って、壁に掛けている時計をピシッと鋭く指差した。

「あらほんと。もうこんな時間？お母さんも仕事に行かなくちゃだわ」

「呑気でいいな、アンタは！」

相変わらずマイペースな母に対し、苛々した面持ちでそう言い返す。

そして、その辺りにあったパンを適当に一つ掴んで、急いで玄関の扉へと向かった。

「……………いつ……………まあ、いいか……………」

いってきます、と言おうとして、やっぱり止めた。

母は今、仕事に行く準備で二階にいる。

大きな声を出してまで言うことではないか、と思ったので、敢えて言わないことにした。

玄関を開けて、ダッシュで走り出す。

自分の限界の速さで学校に向けて走った。

秋の終わり。

少し肌寒くなってきたこの季節…。

ストーブの暖かい熱に包まれた教室で、担任の教師が席についている生徒を一人一人見ながら気だるそうに口を開いた。

「よしお前ら。ホームルーム始めんぞ。えー…、今日の遅刻は……。ハア…」

ひと通り教室を見渡したところで、教師は大きく溜め息をつく。

「三浦 晴。一人…と…」

そう言って、慣れた手つきで自分の出席簿にチェックを入れた。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6423s/>

---

BLACK WANDERLAND

2011年10月9日00時27分発行